

こどもたちの 笑顔を守るために

— 交通指導員の想い —

問 危機管理課 本 3 階
TEL 0287-23-9301

爽やかな朝の通学路や、活気あふれる市内のイベント会場で制服を身にまとい、交通整理を行う姿を、皆さんも一度は見かけたことがあるのではないのでしょうか。その方々は大田原市から委嘱を受け、市民の安全な通行を支える「交通指導員」の皆さんです。

「**地域のために役立ちたい**」という志を持ち、有償ボランティアとして活動する交通指導員。

今回は、朝の通学路の見守りからイベントのサポートまで、私たちの街に欠かせない、その活動の裏側をご紹介します。

登校日の朝 1 時間、地域を支える

交通指導員の最大の任務は、小中学生が安全に登校できるよう、交差点で見守りを行う「**立哨指導**^{りっしょう}」です。その活動は、小中学校の「登校日」における午前 7 時から午前 8 時 30 分までの間の約 1 時間となっており、土日・祝日や長期休暇（夏休み・冬休みなど）には、お祭りなどのイベントを除き原則として活動はありません。

また、交通指導員は、地域貢献と個人の生活を両立させる「有償ボランティア」として位置づけられており、その責任の重さに対し、市からは月額 47,000 円の報酬が支給されます。

市内にお住まいで、交通安全に関心と熱意のある幅広い年代の市民が「**地域のこどもたちは、地域で守る**」という強い想いを持って活動しています。

ドライバーのみなさまへのお願い

朝の午前 7 時から午前 8 時 30 分までの間は、スクールゾーン付近での減速を徹底してください。また、指導員やボランティアの方々が横断歩道を誘導しているときは、歩行者の安全を優先し、必ず一時停止をお願いします。

温かな挨拶を

指導員も私たちと同じ、大田原に暮らす地域住民です。活動中に見かけたら、ぜひ「おはようございます」「お疲れ様です」と声をかけてみてください。その温かな一言が、朝の寒さや暑さの中で活動する指導員の皆さんの、何よりの励みになります。



Q 1. 交通指導員歴と交通指導員を始めようと思ったきっかけを教えてください

指導員歴は6年になります。定年退職後の日常生活で、ボランティア・趣味を考えていた時に、自治会長さんから交通指導員さんの説明があり決めました。

Q 2. 交通指導で気を付けていることは

小中学生の登校時の安全・安心の確保。自分自身の身を守る。指導員をすることで、早起きができ、小中学生の元気な挨拶で元気をいただいています。

Q 3. 印象に残っている出来事

こども達の元気な挨拶。

Q 4. これから交通指導員になる方へのメッセージ

一緒に頑張りましょう。



Q 1. 交通指導員歴と交通指導員を始めようと思ったきっかけを教えてください

指導員歴は2年半になります。自分のこども達が交通ボランティアの方の大変お世話になり、私もいずれは...と思っていたのですが、思ったより早くそのタイミングが来ました。

Q 2. 交通指導で気を付けていることは

こども達の安全はもちろんですが、通勤時間帯で急いでいる中、安全にご協力いただいているドライバーの方への感謝の気持ちを忘れずにいようと心がけています。

Q 3. 印象に残っている出来事

初めて立哨したのが1月だったので、その時は緊張で感じなかったのですが、家に帰ってから身体が冷え切ってしばらく動けず、改めて交通指導員さんやボランティアの方のありがたさを知りました。

Q 4. これから交通指導員になる方へのメッセージ

一緒に頑張りましょう。

Q 1. 交通指導員歴と交通指導員を始めようと思ったきっかけを教えてください

指導員歴は7年になります。きっかけは、私のこども達も小中学校時代に交通指導員の方にお世話になったので、私も少しでも地域に貢献できたらと思い、始めようと思いました。

Q 2. 交通指導で気を付けていることは

歩行者用信号が青でも優先意識を持たないで、周囲の状況をよく確認してから、児童・生徒が安全に道路を横断できるように気を付けています。また、仕事に行く前にストレッチをするなど、健康管理にも気を付けるようになりました。

Q 3. 印象に残っている出来事

卒業生が挨拶に来てくれたことです。

Q 4. これから交通指導員になる方へのメッセージ

毎朝、こども達から笑顔と元気をもらえる素晴らしいお仕事です。また、年3回の定例会では、体験談を話したり、情報交換なども行えるので、安心してお仕事できます。

